

ISD条項による ほんとにあった怖い話 が 何——<(II°◇°II)>——ㄗㄗ!!!!

(参考：平成23年4月 経済産業省通商政策局 経済連携課 国際投資仲裁の事例)

むかし昔じゃない最近。

TPPや日中韓FTAのようにISD条項を含んだ投資協定を結んだ国のお話です。

ジャイアニズムと言いますが、こりゃージャイアンが気の毒なほどひどい内容。

ここでご紹介するのはその一例、将来の日本も同じ目に合うかもしれません。

規制が厳しいからこそ保たれている秩序と安全。

TPPそして日中韓FTAで私たちはそれを手放そうとしているのです。



[アメリカとアルゼンチンの例] はじまり はじまり～

●アルゼンチン：「北米-アルゼンチン投資協定(ICSID)」にのっとり、アルゼンチンの水道事業はアメリカ子会社のアジェリ社に決定！

■アジェリ社： \ (▽ *) / OK! Yes, we can!!

その後・・・

●アルゼンチン：おいアジェリ社、契約に基づいた料金体系で運用しなさい。高すぎ！ (/; ° □°) /
さらに水道からバクテリアが出てるじゃないか！！

やばい、健康被害が出そうなレベルだよお・・・ Y(▷_◁)Y

アジェリ社とは契約破棄です！！

■アジェリ社：No!! 投資協定における公正衡平待遇違反だ、訴えてやる！！ (` ˊ _ `) オラオラ

こうして本当にアルゼンチンはアジェリ社から訴えを起こされました。

これぞ”逆切れ”です。

しかし裁判結果は北米-アルゼンチン投資協定の「公正衡平待遇違反」として

アルゼンチンの負け。

なんと約1億6500万ドルの賠償金支払い。(1ドル100円→165億円)

TPPも同様で日本の公共事業をTPP加盟国が入札できます。

急勾配や地震が多い日本のライフラインを他国ができますか？

グローバル化(自由化)は身の危険もグローバルにやってきますよ。

[アメリカとカナダの例] はじまり はじまり～

■アメリカ： (` ˊ _ `) カナダのみなさま！私はアメリカの廃棄物処理企業です
カナダで発生したPCB(有害物質)をアメリカに運んで廃棄物処理しまーす

●カナダ：ちょっと待ったああ！！
輸送中に漏れたら甚大な環境汚染が発生するよ!! それは禁止！ べ(` □ ` ,) /

■アメリカ：No!! 北米自由貿易協定(NAFTA)のISDで訴えてやる！ (` ˊ _ `) オラオラ

カナダはカナダの安全を守るために禁止しただけの事です。

しかしISDの裁判は安全や環境ではなく、協定関係にある投資家(企業)が損をしたかが判断材料。

ちなみに裁判はカナダ政府の負けです。

不要な法律や措置を立てた方が悪いという意見も少なからず見当たりますが、それは誰にとっての不要なのでしょう？

ISD条項やラチェット規定はそもそも政体が不安定な発展途上国と契約を結ぶためのツールです。(その国で政権変わって契約ひっくり返されたら困りますからね)

しかし今、日本が行おうとするのは訴訟大国であったり、平気で嘘をつく国々との投資協定。“ある意図”を持って運用されることは、想像に難くありません。

